

ぎかいだより

題字/北小学校5年生 松下 禮士 さん
北小学校の皆さんにご協力をいただきました。

Contents

- P 2 議長・副議長抱負
- P 3 5月臨時会の報告
- P 4 6月定例会の報告
- P 6 一般質問
- P10 議会トピック
- P11 常任委員会等の紹介
- P13 活動報告
- P15 クローズアップ定例委員会
- P16 9月定例会の日程案

№ 64
2026
8.1
SUMMER



Title/新しい友達
Photograph by 伊藤宏昭



議長抱負 榎 隆司

高山市議会第93代議長に就任し、身の引き締まる思いです。本市議会には活動規範となる「高山市議会基本条例」があり、民主的で持続可能なまちづくりへの決意が刻まれています。日本一広い市域を持つ本市の多様な声を市政に活かすため、条例が目指す「議論する議会」の姿こそが必要であると確信しています。議長職は名誉職ではなく、この理念をカタチにする「責任職」です。

市長と議会が「二元代表制」の両輪として、緊張感を保ちつつ切磋琢磨する場を守り抜きます。基本条例が掲げる「よりよい政策の実現」を目指し、次の3つの取り組みに邁進します。

1つ目は「議員間討議の活性化」です。24名の議員が地域性などを発揮して議論を戦わせ、行政からの提案をより良いものへと高めていけるよう、議会の機能を最大限に引き出します。

2つ目は「議員定数と報酬の議論」です。あり方について全議員でしっかりと議論を交わす機会を設けます。

3つ目は「政治倫理の最適化」です。政治倫理調査委員会が出された課題や評価を踏まえ協議を進めます。

このほか、人口減少や高齢化、伝統文化や農業の継承など、様々な課題について全議員で調査研究を進めてまいります。市民の皆様には、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



副議長抱負 石原正裕

歴史と伝統ある高山市議会の副議長という大任を仰せつかり、身の引き締まる思いです。皆様に深く感謝申し上げます。

議会が行政のチェック機能に留まらず、地域の未来を共に設計する「共創のエンジン」となれるよう、私は議長をしっかりと支え、皆様と共に次の4つの柱を軸に、信頼される議会づくりに邁進いたします。

一、停滞させない議会の構築

会派を超えた建設的な議論を重んじ、丁寧な論点整理と合意形成に努めます。ベテランから新人まで誰もが委縮せず、互いに学び合い相談しやすい環境を整え、議会全体の力を底上げします。

二、健全で建設的な緊張関係

中立公正を基本に、対立ではなく論点で首長と向き合います。必要な時には厳しくチェックし、時には共に前へ進むバランスを保ちます。

三、市民に開かれ、頼れる議会

多様化する市民の皆様の声を真摯に聞き、議会審議へ丁寧に反映します。事業者や地域外の多様な主体とも連携し、分かりやすく身近な議会を目指します。

四、議員の知見を集結する環境づくり

議員一人ひとりの豊かな知見や経験を共有・連携し、成果に繋げる関係性を築きます。

5月臨時会 議案審査

5月11日に開催した臨時会では、議長・副議長の選挙、議会運営委員の選任などを行いました。また、令和7年度一般会計補正予算など専決処分2件、令和8年の税制改正に伴う、高山市税条例等の一部改正の条例案件1件、高規格救急自動車1台の取得にかかる事件案件1件、固定資産評価員と監査委員を選任する人事案件の2件の計6議案について、原案のとおり承認・決定・同意しました。

そのほか、報第5号 令和7年度高山市一般会計補正予算第13号の専決処分については、本年2月、3月にいただいた寄附額10,127千円を基金に積立を行ったほか、財源の振り替えを行ったものです。



高規格救急自動車



5月臨時会所信表明会

高山市議会では、市民に開かれた議会を目指すため、正副議長に立候補しようとする者は、議会運営における自らの考え、市民の福祉の増進を図る取組、議会の抱える課題の解決に向けた取組方針などを全議員に示す所信表明会を行っています。今回は、議長候補の榎隆司議員、副議長候補の石原正裕議員が所信表明しました。この様子はCATV、インターネットで生中継しました。議会では、正副議長候補者が自らの考えを議員に示すだけでなく、中継等を通じて広く市民の皆様にお示しすることで、より議会に関心を持っていただき、議会活動をご理解いただく機会の一つにしたいと考えています。



議長所信表明(35分 10秒～1時間 33分 35秒)



副議長所信表明(1時間 44分 06秒～2時間 03分 32秒)

高山市議会YouTubeチャンネルから臨時会へ臨時会映像内に所信表明会があります。



6月定例会 議案審査

総務環境委員会

①高山市税条例の一部改正

問 個人市民税関係では障がい者や高齢者などご自身が扶養親族等の申告をしなければならないのは負担が大きい支援体制の考え方は

答 窓口での丁寧な対応、サポート体制の強化により市民に寄り添った対応を行う。
また広報紙や申告相談のチラシなどで十分な周知に努める。

②財産（消防団汎用積載車）の取得

問 入札状況は

答 10社を指名し、2社が応札した。

問 消防団の車両配備計画はどのようになっているのか

答 持続可能な消防団のあり方を検討するなか、火災だけでなく水害や土砂災害に対応できる機動力が必要。全支団、各分団にポンプ車1台と汎用的な車両または積載車を配備する計画である。消防団の皆さんと協議を重ね決定している。



消防団汎用積載車

福祉文教委員会

①高山市印鑑条例の一部改正

問 高山市で在留カード、特別永住者証明書をもっている方の人数、今後、特定在留カードを交付する見込みの人数は

答 令和8年4月1日現在、市に住民登録されている外国人は1,817人、このうち特別永住者は89人。
特定在留カードの交付見込み数については、年間250人程度。

②高山市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例及び高山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

問 性犯罪歴の照会方法の流れ、また条例施行日前までに雇った方や、現従事者への性犯罪歴の照会方法は

答 事業所からこども家庭庁へ従事予定者の性犯罪歴確認の申請を行い、従事予定者本人がこども家庭庁へ個人情報の使用について承認し、こども家庭庁から法務省へ照会を行い、その結果が事業者へ通知される。条例施行日以前に内定を出した方や現従事者に関する性犯罪歴の照会は、3年以内に同様の流れで照会を行う。



産業建設委員会

高山市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正

この条例については地方自治法の改正に伴う条ずれによる改正で、条例の内容自体に変更はないことから、特段の質疑もなく全会一致で可決しました。

予算決算特別委員会

令和8年度 高山市一般会計補正予算（第1号）

最高裁判所判決を踏まえた生活保護費の追加給付に伴う給付費等の増額などに5,700万円余りを追加するもの。

予算決算特別委員会では過去の生活保護受給対象世帯の把握状況や対応、今回の追加給付に伴う現在の生活保護給付額への影響などを論点に質疑が行われました。

6月定例会 上程議案一覧表

6月定例会に上程された議案及び議決結果は次のとおりです。

市長提出議案

議案番号	件 名	付 託 委 員 会	議 決 結 果
報第 6号	損害賠償の額の決定の専決処分について	—	報 告
報第 7号	継続費繰越計算書（一般会計）について	—	報 告
報第 8号	継続費繰越計算書（下水道事業会計）について	—	報 告
報第 9号	繰越明許費繰越計算書（一般会計）について	—	報 告
報第10号	繰越明許費繰越計算書（国民健康保険事業特別会計）について	—	報 告
報第11号	事故繰越し繰越計算書（一般会計）について	—	報 告
報第12号	繰越計算書（水道事業会計）について	—	報 告
報第13号	繰越計算書（下水道事業会計）について	—	報 告
議第40号	高山市監査委員条例の一部を改正する条例について	総 務 環 境	原案可決
議第41号	高山市印鑑条例の一部を改正する条例について	福 祉 文 教	原案可決
議第42号	高山市税条例の一部を改正する条例について	総 務 環 境	原案可決
議第43号	高山市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例及び高山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	福 祉 文 教	原案可決
議第44号	高山市立学校の設置等に関する条例及び高山市放課後児童クラブの設置等に関する条例の一部を改正する条例について	福 祉 文 教	原案可決
議第45号	高山市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	産 業 建 設	原案可決
議第46号	財産（消防署消防ポンプ自動車）の取得について	総 務 環 境	原案可決
議第47号	財産（消防団消防ポンプ自動車）の取得について	総 務 環 境	原案可決
議第48号	財産（消防団汎用積載車）の取得について	総 務 環 境	原案可決
議第49号	令和8年度高山市一般会計補正予算（第1号）	予 決 特	原案可決
議第50号 ～ 議第68号	農業委員会委員の任命について	—	同 意

6月定例会の議案賛否一覧

6月定例会の提出議案における各議員の賛否は、欠席した松山議員を除き、いずれも全会一致で可決・同意しました。なお、榎議長は採決に加わりません。

6月定例会

一

般

質

問

6月定例会では15人の議員が市政に対する一般質問を行いました。

今号では各議員による複数の質問の中から一部を選んで掲載しています。

一般質問とは、議員が高山市政全般にわたり、事務執行の状況及び将来に対する方針などについて所信を質すとともに、報告、説明を求め疑問を質すものです。

質問のみで1人40分。質問回数は制限なしとしています。※反問に要した質問及び答弁の時間は持ち時間に含めません。

質問と答弁がかみ合うことで分かりやすく充実した議論となるよう、原則としてあらかじめ通告しておくこととなっています。

P16右下の二次元コードから高山市議会YouTubeにて各議員の一般質問をご覧ください。（タブレット・スマートフォンに対応。通信料は別途発生します。）

地域資源を活かした地熱発電の可能性と地域戦略について

みんなで未来をつくる会

丸山 純平



問 市では小水力発電や木質バイオマスの活用が進む中、奥飛騨温泉郷などの地域特性を活かした地熱発電にも可能性があると考えます。地熱発電について、他の再生可能エネルギーと比較した場合の特徴や優位性、課題は。また、地熱発電を単なる発電事業としてではなく、持続可能な地域づくりや観光振興につながる地域資源として捉え、地域ブランドの形成や地域戦略に活かしていく考えはあるか。

答 地熱発電は天候の影響を受けにくく安定した発電が可能であり、小水力発電や木質バイオマスと比較しても発電能力の非常に高い、有用な再生可能エネルギーの一つと認識している。一方で、調査や掘削に多額の費用を要することや、温泉資源への影響などが課題である。奥飛騨温泉郷は地熱資源に恵まれた地域であり、地熱発電の活用可能性を有している。自然エネルギーを活用した地域振興やブランド形成につなげていく視点も大切だが、地域住民との合意形成を図りながら進めていくことが重要である。



労働力確保とワークダイバーシティについて

みんなで未来をつくる会

益田 大輔



問 ひきこもり状態にある方や、障がいのグレーゾーン、長期ブランクなどで就労に困難を抱える方を、「まだ活躍できていない人材」と捉え、地域の労働力として迎え入れるワークダイバーシティ施策について、市の考えは。

答 人口減少や人手不足が進む中、それぞれの能力や特性に応じて地域で活躍できる環境づくりは重要である。重層的支援体制整備事業を活用し、相談支援、社会参加支援、アウトリーチによる支援を一体的に行い、就労につながる機会となるよう進める。



地域住民の安心・安全な生活環境を守れ

高山市議会公明党

山腰 恵一



問 民泊・簡易宿所は、騒音やゴミの放置、迷惑駐車などの問題があり、住民の生活環境を脅かす事案がある。県や市は苦情や問題の相談窓口を設けているが、個人では通報しづらい声もあるため、地域や町内会等からの苦情や問題を集約し対応できる体制が必要では。

答 民泊・簡易宿所を所管する県庁担当課および飛騨保健所と高山市の関係課による会議体を発足し、課題の共有や改善に向けた具体的な取組を共同で協議している。地域の皆様や町内会などからの苦情を集約し対応できる体制の整備について検討を進める。



女性に選ばれるまちの構築

高山市議会公明党

中 箴 博 之



問 飛騨地域は女性の帰還率が男性の半分だと指摘されるが、女性から選ばれるまちの構築に向け、前例踏襲の社会の仕組みをジェンダーの視点で深掘りし、職場・地域・家庭・学校等、まち全体を対象にした市独自の「ジェンダーギャップ解消戦略」を策定して取り組む考えは。

答 市では総合計画に掲げる重点戦略に基づき、様々な主体と連携しながらジェンダーギャップの解消に取り組むこととしており、女性をはじめ誰もが自分らしく生きられる社会の実現を目指していく。



人口減少時代の文化継承—地域の祭礼や郷土芸能を守るには

あかつき

戸 田 柳 平



問 高山祭や伝統的建造物群保存地区の保存継承が重要である一方、地域の祭礼や郷土芸能、山村文化、信仰文化など、市域全体の文化継承については、人口減少や広大な市域といった課題もある。市として、どのような課題認識を持ち、今後どのように支援していく考えか。

答 少子高齢化や人口減少に伴う後継者不足、保存に向けた改修費用の負担などにより、これまでと同じ形で文化を継承することが難しくなっていると認識している。行政だけでなく、市民や保存団体など関係者と連携し、情報発信や支援の確保に努めながら、歴史文化資源の継承に取り組んでいく。

公共施設の照明蛍光ランプのLED化について

あかつき

水 野 千 恵 子



問 2027年末までに一般照明蛍光ランプの製造、輸出入が禁止になり早期のLED化が推奨されている。しかし器具ごと交換の場合は経費もかかるが現在の市有施設のLED化率はどのようになっているか。また各町内の公民館等避難所となる施設のLED化に対する補助の考えは。

答 現在の施設のLED化率は約31%で、今後5～6年かけて順次整備していく予定。多額の経費が必要となるため計画的な更新を進めていく。町内集会施設の改修に対しては防災機能強化や、安全性確保を優先してきたことから、LED化については補助対象としていなかったため、今後検討していく。



医療提供体制の充実に向けた展望について

あかつき

西 本 泰 輝



問 市長は、「飛騨地域に住んでいることで、失われる命や健康があってはならない」という熱い思いを語り、「医療には妥協しない」という信条のもと、地域医療の充実に努められてきた。医療提供体制の充実に向けた今後の展望についての市長の考えは。

答 中核病院の高山赤十字病院と久美愛厚生病院を「飛騨高山医療センター（仮称）」として機能を一つにまとめ、医師や看護師、専門スタッフという宝を最大限に生かして、効率的で質の高い医療を安定して受けられる仕組みをつくる。すでに、両病院長や日本赤十字社医療事業推進本部、JA岐阜厚生連、岐阜大学といった関係機関のトップと面談し、協力して進める合意を得ている。

みんなの幸せと個人の幸せについて

創政クラブ

片野 晶子



問 価値観の多様化が進む一方で、行き過ぎた個人主義により地域の繋がり希薄化や孤立が浮き彫りになってきていると感じる。全ての命を尊重し、互いに生かされているという日本固有の感性を見つめ直すことが社会の幸福につながると考えるが市の見解は。

答 個人の幸せを追究していただく事は重要であり、施策としてその後押しをしていく。加えて、人と人とのつながりを大切に、個人の幸せを地域や周りの人が思いやり、支え合うことのできる寛容な地域社会をつくること、市民全体の幸せにつながると考える。



「高山市学校運営協議会制度（コムスク）」の立て直し

創政クラブ

倉田 博之



問 令和2年度に「学校と地域が一体となった社会総がかりの子育て」の高い志で導入されたコムスクは、初動でコロナ蔓延に飲み込まれ、目的・意義・意識の全体共有が機能停止した。現況に原点は反映されているか。

答 学校単位では意識共有や熟議はあるが、最も大切な地域の巻き込みはできていない。形だけでは意味がなく、学校が起点となり強い思いを持ってリードすべきだ。

問 「働き方改革」からか学校と地域の接点が簡素化・形式化され、学校が地域に対しよそよそしくなった。まずは教育行政と学校現場が原点回帰し、認識を新たにしなければならないのでは。

答 学校の意識改革とともに、地域に距離を置かず積極的に働きかけ「子どもと学校を核とした地域づくり」を進めていく。



中東情勢がもたらす物価・資材高騰等の対策について

日本共産党高山市議団

坂下 美千代



問 中東情勢の緊迫化に伴う物価・資材高騰は、医療（医療用グローブ240%値上がり等）、農業（出荷用フィルム等の入荷見通し難等）、建設業（内装材不足等）の現場に深刻な影響を与えている。市の現状把握と、利子補給の拡充や土木工事等の仕事づくりを含めた市独自の支援策に取り組めないか。

答 医療・農業資材（予約分）は現時点で大きな影響がないことを確認しており、今後も関係機関と情報共有を継続する。支援策については、国の約3.1兆円規模の補正予算による対応を注視しつつ、「高山市中小企業経営安定特別資金融資」や、「岐阜県経済変動対策資金」に追加された「中東情勢影響枠」の今後の利用状況を注視していく。公共事業は中東情勢に関わらず計画的に工事発注を行っている。

市道西岡本線と市道雁川原線との交差点の安全確保について

日本共産党高山市議団

上嶋 希代子



問 最近、歩行者が巻き込まれる大きな事故が発生した。優先道路の見分けがつきにくく、横断が難しいとの声があり、多くの市民から信号機の設置の要望がある。市の対応と今後の見通しは。

答 これまでも窓口の高山警察署に対して、信号機設置を要望してきたが、公安委員会も今回の事故を重く捉えていると伺っており、基準にとらわれず早期に設置されるよう強く要望を行っている。



地方創生の切り札 世界的な蒸留所ツーリズム

未来
松山篤夫



問 廃校となった高根小学校を利用して、清冽な水、湿潤な気候と美しい空気的环境下でクラフトウイスキーが製造されている。世界的にこのような蒸留所ツーリズムが人気となっている。高根地域の自然景観や温泉などの地域資源を利用した飛騨高山蒸留所ツーリズムといったプロモーションは持続可能な地域づくりに大きく寄与すると考えるが、市の見解は。

答 近年、国内外でも注目されており、「体験できる観光」として価値が高いものであると認識している。高根地域の魅力発信に努め、持続可能な地域づくりにつながる観光振興に取り組んでいく。



飛騨高山蒸留所

丹生川町の国道158号の崩落箇所への対応と影響

未来
車戸明良



問 令和8年2月25日に塩屋地内で発生した大規模な土砂崩落による通行止めの復旧の見通しと観光等への影響は。

答 当初、梅雨入り前の片側通行を目指していたが、再び崩落があり、現時点で復旧見通しはたっていない。対岸の市道を迂回路としているが、普通車と路線バスのみで、丹生川地内や奥飛騨温泉郷地内の観光施設などでは、団体旅行の予約キャンセルなどの影響が出ている。さらに、復旧の見通しが立たない場合は、首都圏や関西圏、中京圏からのツアーが催行されない可能性があり、地元経済へ大きな影響が及ぶ。

問 復旧が夏、秋、冬と長期に及ぶことが懸念されるが、通行止めが続く場合の対策は。

答 高山土木事務所長に早期片側交互通行を要望するとともに、迂回路の市道沿線住民にも配慮し、市道の改良や交通誘導員の配置・退避場所の設置など具体的な方策を検討し、観光バスについても通行できるよう県と連携しながら早急に取り組む。

荘川町六廐の産業廃棄物最終処分場計画について

新政たかやま
平戸芳文



問 国や県の制度に基づき進む計画に対し、市としてどのような戦略と道筋を持って計画中止を目指しているのか。

答 荘川町六廐の産業廃棄物最終処分場計画は、関係法令・条例に基づき手続きが進められており、現在は事業者による環境影響評価が行われている。市は、今後提出する県への意見書について、弁護士や学識経験者の知見、市独自の検証や環境影響調査結果を踏まえ、法的・科学的根拠に基づく懸念事項を整理して取りまとめる。また、事業者の動向や県条例の手続き段階に応じて、専門家の助言を受けながら適時適切な対応を行う。

地域クラブによる遠征時の移送支援や安全確保について

新政たかやま
西田 稔



問 5月に磐越自動車道で発生した部活遠征バスの事故は当市でも他人事ではない。バス代等の高騰により保護者の負担は増えているが、市として遠征費補助や支援制度拡充の考えは。

答 市では今年度から「高山市地域クラブ活動補助金」により1人当たり3千円を補助することとし各地域クラブで大会遠征費等、地域クラブの運用に活用いただいている。なお中体連大会の参加登録費も市が補助している他、県大会以上の大会への移動等への支援として「中学校等各種大会派遣補助金」制度を設け交通費等の1/2を助成し保護者の負担軽減を図っている。



議会トピック

北小学校6年生が議会傍聴で「議会と市政運営の最前線」に触れる体験

6月12日に北小学校の6年生が、6月定例会を傍聴しました。これは児童がまちづくりに参画できることを目的に行われている総合的な学習の一環として行われました。午前中に行われた一般質問を、4つの班に分かれて順番に傍聴し、傍聴席から議員と執行部（市）のやり取りを見学しました。また、議会事務局の職員から市議会の仕組みなどについて説明を受けました。



いつか議員になり、議場に立ちたい。

色々な課題について、たくさんの人が、たくさんの意見を出し、すごいなと感動した。

とても静かで、難しいところもあったけど、市政のために真剣に議論しているんだなと思った。

政治の話にとっても興味があるので面白かった。



政務活動費の報告

政務活動費とは、地方自治法第100条第14項及び第15項の規定に基づき、議員の調査研究に資するために必要な経費の一部として交付されるもので、高山市議会では議会における会派（無会派の場合は個人）に対して、所属議員数に20万円を乗じた額が1年間の交付限度額として交付されます。なお、高山市議会は前もって交付するのではなく、後払い（精算払い）制を採用しています。

令和7年度 政務活動費交付実績

（単位：円）

項 目	新政 たかやま	創政クラブ	未来	日本共産党 高山市議団	みんなで 未来をつくる会	議長 （伊東議員）
調査研究費	1,598,054	455,826	303,279	60,293	297,620	17,453
研 修 費	568,847	122,204	42,489	50,417	0	74,886
資料作成費	33,099	0	0	0	0	0
資料購入費	0	0	0	0	69,823	0
合 計	2,200,000	578,030	345,768	110,710	367,443	92,339
所属議員数	11名	3名	2人	2人	2人	1人
（ 参 考 ） 一人当たり交付額	200,000	192,676	172,884	55,355	183,721	92,339

※高山市議会公明党と無会派（小井戸議員）は、政務活動費の交付はありませんでした。

調査研究費：会派等が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費

研 修 費：会派等が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会への参加に要する経費

資料作成費：会派等が行う市政に関する調査研究に必要な資料の作成に要する経費

資料購入費：会派等が行う市政に関する調査研究に必要な図書、資料等の購入に要する経費

市議会ホームページでは、政務活動費の領収書の写し、政務活動費で行った視察・研修報告書を公開しています。

政務活動費の領収書等は、議会事務局で閲覧できます。

市議会ホームページ
政務活動費へ



常任委員会

総務環境委員会

総務環境委員会では、「市長公室、総合政策部、総務部、財務部、森林・環境政策部、会計室、監査委員、消防」を所管しています。議案の審査をはじめ協議・報告事項などの検討のほか、今年度は政策提言も念頭に、「行政運営(脱炭素と地域振興)」、「公契約」、「防災」を中心として政策課題の調査研究に取り組むとともに、市民意見交換会などのご意見も踏まえて市民に寄り添った委員会活動を進めます。



中村委員 倉田委員 車戸委員 山腰委員 渡辺委員
西本委員長 水野副委員長 榎委員

福祉文教委員会

福祉文教委員会では「市民活動部、市民福祉部、こども未来部、医療保健部、教育委員会」を所管し、政策課題として「文化振興に関すること」「学校教育における生成AIの利活用に関すること」「介護人材に関すること」「地域医療施策に関すること」を中心に調査研究を進めております。多くの市民に寄り添っていただけるよう委員会活動や議案審査に臨んでいきます。



戸田委員 片野委員 坂下委員 伊東委員
中茂委員 西田委員長 丸山副委員長 水門委員

産業建設委員会

産業建設委員会では、「農政部、商工労働部、飛騨高山プロモーション戦略部、建設部、都市政策部、水道部」を所管し、農業政策、観光戦略、景観施策を重要調査項目として、先進地視察や分野別意見交換会等を実施しながら調査研究をすすめていきます。今年度は政策提言に向けて、観光戦略と景観施策を組み合わせた「夜間景観を中心とした景観政策及びこれと連携した観光戦略の可能性」について、調査・研究に取り組みます。魅力ある夜間景観の形成は今後のまちづくりの重要な課題であるとの認識から、テーマに関する先進地視察や高山市の夜間景観の現状を把握するための実施調査等を行います。



益田委員 沼津委員 岩垣委員 石原委員
松山委員 平戸副委員長 小井戸委員長 上嶋委員

議会運営委員会

議会運営委員会は2名以上で構成される会派から委員が選出され、市議会が円滑に機能するよう会議の進め方や日程を調整するなど重要な役割を担っています。定例会の日程や進行、議案の取り扱いや議会の運営方針をはじめ、請願や国への意見書、議長の諮問などについても、取り扱いなどを話し合い、会派・議員が公平に発言・議論できる環境を整え、公正で効率的な運営となるよう協議し意見調整しています。

多様な市民意見を代表する議会の議事運営機関として、開かれた議会運営を目指し、社会の変化に柔軟に対応し、議会改革を進めながら信頼される議会づくりに努めていきます。



丸山委員 沼津委員 坂下委員 片野委員
山腰委員 水野副委員長 車戸委員長 渡辺委員

特別委員会

産業廃棄物最終処分場計画調査特別委員会

議会が産廃処分場建設計画に不安を感じる荘川の方々に寄り添うために、特別委員会を立ち上げて6年がたちました。

この間、県知事に宛てた意見書の提出や、市長に対応を求める質問、下流域自治体の議会や団体との情報共有に取り組むなど独自の活動を展開してきましたが、市長が明快に「産廃処分場建設反対」を表明し、必要な対策予算を計上されたことは大きな成果だと受け止めています。

この秋には計画事業者から県条例に基づく事業計画の「方法書」が提出される見込みで、その後の公告・縦覧、住民説明会においては、地域の皆さんをはじめ「オール高山の問題」として「適格な主張が行えるよう」更なる調査を進めます。



益田委員 西本委員 坂下委員 平戸委員 石原委員
車戸委員 戸田副委員長 中箴委員長 松山委員

高山駅西地区まちづくり構想に関する特別委員会

市では、「ふれあい×にぎわい×つながり」をまちづくりのコンセプトとした高山駅西地区まちづくり構想を定め、駅西地区に多くの市民が訪れ利用し活力あるエリアの整備を目指しています。

現在この事業は、高山駅西地区複合・多機能施設整備事業のデザインビルドに係る公募型プロポーザルが、整備費用の高騰を理由に3月に応募者から応募辞退届が提出されたことにより、本プロポーザルが中止となりました。担当課では構想等を最大限に尊重しつつ事業推進に向けた様々な可能性について検討されているところです。

委員会としては、今後の具体的な施設整備事業の進捗を注視しているところです。市民の皆さんが期待されている構想の中核である施設整備に向けて、先進地の取り組みなどの調査研究を進めてまいります。



伊東委員 水門委員 中村副委員長 山腰委員長 倉田委員 丸山委員
小井戸委員 水野委員 岩垣委員

議会閉会中の委員会活動

高山市議会では、毎月、総務環境委員会、福祉文教委員会、産業建設委員会の3つの常任委員会等を開催し、市の重要事項について執行部から協議・報告等を受け議論を行うとともに、市政に関する調査研究活動を行っています。

なお、5月常任委員会等では、下記のとおり各部署から所管事項について報告があり、決算・予算と連動した政策形成サイクルを踏まえて各委員会の年間活動計画に反映しました。

常任委員会の協議・報告事項（4月～6月）

高山駅西地区まちづくり構想に関する特別委員会

4月20日	報告事項	高山駅西地区複合・多機能施設整備事業の公募型プロポーザルの中止について
-------	------	-------------------------------------

総務環境委員会

5月18日	報告事項	所管事項について
-------	------	----------

福祉文教委員会

5月19日	報告事項	朝日・高根地域における義務教育学校の特色ある教育課程について
	報告事項	所管事項について

産業建設委員会

5月20日	報告事項	中部縦貫自動車道高山清見道路(高山 IC～丹生川 IC(仮称) 間) の中間 IC周辺の整備の方向性について ※詳細は15ページで
	報告事項	所管事項について

福祉文教委員会

◆高山歯科医師会との分野別市民意見交換会

福祉文教委員会は、地域の歯科医療課題について高山歯科医師会と意見交換会を行いました。歯科医師会からは、会員の減少や近隣自治体からの患者流入等により初診が2～3週間待ちとなるケースや、歯科衛生士の慢性的な不足、歯科技工士の解散、山間部ゆえに移動時間がかかる訪問診療、専門性を要する障がい者診療への対応など、多くの課題が報告されました。

また医療提供体制を維持するために、従来の「治療中心」から「予防歯科」への転換が必要であり、具体策として「検診時のクリーニング付与による歯科検診受診率向上策」や、「歯に関する条例制定」が挙げられました。また、患者の搬送支援、医療機器導入への低金利融資、行政における歯科衛生士の常勤配置、市民への積極的な情報発信など、様々なご意見をいただきました。

委員会としても、市民の皆様が将来にわたり安心して歯科医療を受けられるよう、今回の意見交換会を今後の調査研究や政策提言に繋げていきます。



総務環境委員会行政視察

バイオコークスを活用した地域の熱エネルギー循環の可能性を調査

総務環境委員会では、脱炭素に関する取り組みについて、地域内での熱エネルギー循環が重要であるとの視点から調査・研究を進めています。その調査の一貫として、ALTERNATIVE ENERGY JAPAN株式会社（本社 高山市）を視察しました。同社は、木質資源や農作物残渣、食品残渣、畜産由来資源などを原料とする次世代固形バイオエネルギー「バイオコークス」の製造・研究開発に取り組んでいます。

視察では、木質バイオコークスのほか、牛糞堆肥、トマトの茎・枝、トマトの実、ほうれん草などを原料としたバイオコークスのサンプルを確認しました。これまで処理・廃棄されてきた地域の未利用資源を燃料化し、薪ストーブ、サウナ、ボイラーなどの熱エネルギーとして地域内で活用する循環型モデルの可能性について説明を受けました。

また、牛糞堆肥を活用することで、安定的な原料確保につながる可能性があることや、和牛・乳牛の区別なく利用できる点など、飛騨地域の畜産資源を幅広く活用できる可能性についても学びました。地域で発生する資源を地域内で活かす仕組みは、廃棄物処理や脱炭素の観点からも重要です。

高山市では、小水力発電をはじめとした再生可能エネルギーの導入が進められていますが、脱炭素社会の実現には、電力だけでなく熱エネルギー分野の取組みも重要です。

当委員会では、引き続き地域の熱エネルギー循環に関する調査・研究を進めていきます。



木質バイオコークス

福祉文教委員会行政視察

金沢市「文化の人づくりの推進に関する条例」について

福祉文教委員会では、金沢市の「文化の人づくりの推進に関する条例」に基づく取組などについて視察を行いました。

この条例は、文化を単に保存・継承する対象ではなく、人づくりやまちづくりを支える基盤として位置付けており、市民一人ひとりを文化の担い手と捉え、「担い手」「支える人」「つなげる人」の育成を重視しています。

具体的には、中学生を対象とした能楽やオーケストラの鑑賞、工芸や茶道などを学ぶ「こども塾」、伝統工芸や伝統芸能の後継者育成、歴史的建造物である金沢町家の保存・活用などに取り組んでいました。

また、伝統文化の継承だけでなく、音楽イベントや現代アート、市民による創作活動など、新たな文化の創造や発信にも力を入れており、文化を幅広く捉えている点が印象的でした。

今回の視察を通じて、文化を守るために人を育て、人を育てるために文化を活かすという考え方や、文化の継承と創造の両立を図る取組について学ぶことができました。

本委員会においても、第九次総合計画が掲げる「人づくり」に視点をおき、文化による人づくりと地域の魅力向上につながる施策について検討してまいります。



クローズアップ定例委員会

中部縦貫自動車道高山清見道路（高山IC～丹生川IC（仮称）間） の中間IC周辺の整備の方向性について

中間IC周辺における市の地域活性化構想の方針において、「市は拠点となる整備を行うことで、民間によるエリア開発を誘導する」としていることから、中間IC周辺の地域活性化検討調査が実施されました。

調査を受けて、中部縦貫自動車道の整備状況に応じた段階的な整備を行う方向性が以下のように示されました。

（１）高山清見道路完成時

当面は、地域特性（山岳眺望・田園風景）を活かし、軽トラマーケットやイベントなどの多目的に利用できる広場を整備し、市民や来訪者による賑わいのきっかけづくりを行う。

（２）中部縦貫自動車道の高山市内全線開通時（将来構想）

広場を拡充した公園整備や民間活力による収益施設の導入により、賑わいの拡大を図るとともに、民間開発を誘導して地域活性化を図る。

議会の視点

今後は地域活性化構想エリア整備の方向性を踏まえ、地元への説明会や意見交換が行われ、中間IC周辺の整備がすすめられますが、議会としても、市からの協議や提出議案に対して、活発な質疑や十分な審査を行っていきます。



ぎかいだよりに掲載する **写真** を募集しています

議会広報紙がより身近なものとなるように、市民の皆様から、ぎかいだよりの表紙や紙面で使用する写真を募集しています。

募集要項は、市議会ホームページ（右下の二次元コードから）で確認できます。応募は、個人に限らず、団体や学校等で撮影いただいたものでも可能です。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

次号令和8年11月1日発行の**ぎかいだより第65号**の写真の応募締切は**令和8年9月15日(火)**です。

◆ 申し込み・問い合わせ

高山市議会事務局

TEL 0577-35-3152 / FAX 0577-35-3170

mail gikai@city.takayama.lg.jp

市議会ホームページ

ぎかいだより

表紙写真募集へ



編集後記



新たな議会体制で迎えた6月定例会では、市民生活や地域の将来に関わるさまざまな議案について審議を行いました。本号では、その概要と委員会活動の様子を中心にお伝えしています。

今年度は現議員の任期を締めくくる年です。

人口減少や物価高、防災など多くの課題がある中、地域の支え合いや新たな挑戦の芽も育っています。こうした声を大切にしながら、開かれた議会を目指してまいります。

ぎかいだよりが議会を身近に感じていただくきっかけとなれば幸いです。暑さ厳しき折、どうぞご自愛ください。

令和8年 高山市議会 9月定例会日程(案)

開会日	曜日	会 議 内 容		場 所
9/7	月	午前9時30分	本会議（提案説明、質疑、委員会付託）	議 場
9	水	午前10時00分	一般質問通告締切	
10	木	午前9時30分	常任委員会（議案を付託された委員会）	各委員会室
14	月	午前9時30分	本会議（一般質問）	議 場
15	火	午前9時30分	本会議（一般質問）	議 場
16	水	午前9時30分	本会議（一般質問）	議 場
		本会議終了後	議会運営委員会	全員協議会室
18	金	午前9時30分	総務環境委員会 ※	全員協議会室
24	木	午前9時30分	福祉文教委員会 ※	全員協議会室
25	金	午前9時30分	産業建設委員会 ※	全員協議会室
28	月	午前9時30分	予算決算特別委員会	全員協議会室
29	火	午前9時30分	予算決算特別委員会	全員協議会室
30	水	午前9時30分	予算決算特別委員会	全員協議会室
10/2	金	午前9時30分	本会議	議 場



このマークが付いている日はYouTube及びケーブルテレビで中継します。

※委員会に付託される議案や協議・報告・調査事項がない場合は中継しません。

高山市議会

市民意見交換会

web版

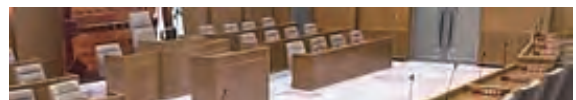
より良い高山のための
アイデアお寄せください

スマホのカメラアプリを
起動して二次元コードを
読み込んでください

こちらから入力フォームへ!!

FAXはこちらへ ▶ 0577-35-3170

お問い合わせ 高山市議会事務局 0577-35-3152



高山市議会 YouTube チャンネル

高山市議会では、本会議及び各委員会などの様子をYouTubeにてライブ配信しています。
ライブ配信終了後には、録画映像もご覧いただけますので、
下記の二次元コードからぜひ視聴ください。

高山市議会
YouTubeへ



チャンネル登録も
ぜひお願いします!

ご利用にあたって(注意事項など)

- ・この映像情報は高山市議会の公式記録ではありません。
- ・この映像情報はパソコンだけではなく、スマートフォンやタブレット端末からでもご覧いただけます。通信料は別途発生します。
- ・各ページに記載の写真、音声、動画及び記事などの無断転載を禁じます。

